

読書活動推進に関する政策提言

平成 2 7 年 3 月

茅ヶ崎市議会教育経済常任委員会

目 次

- 1. はじめに 1
- 2. 調査研究の経過 1
- 3. 調査研究のまとめ 2
- 4. 政策提言 3

1. はじめに

読書は、テレビやインターネットなどの情報メディアなどからは得られない感性を磨き、創造力を豊かなものにし、人生をより深く生きる力を身につけていく上で欠くことが出来ないものである。また、図書館の役割は、本を読む場としてだけでなく、人々が集える空間となる「開かれた図書館」づくりが進められるようになってきた。図書館の持つ様々な媒体からの発信は、地域に新しい価値を生み出すことができる。

本市の「茅ヶ崎市総合計画第2次実施計画」においても、施策目標の中に、「図書館の充実」「読書に親しむ環境づくり」が明記されている。

このような観点から、私たち、教育経済常任委員会は、「読書推進」と「図書館の充実」を重要課題ととらえ、調査・研究を行う中で、議員間討議・検討を行い、今後の施策への取り組み要望を提言として集約した。本提言が、今後の本市の行政施策推進の一端に資するよう要望する。

2. 調査研究の経過

平成26年5月8日 議会報告会・意見交換会

テーマ：「読書推進について
～魅力ある図書館を考える」

内容：茅ヶ崎市立図書館の役割や図書館事業を紹介し、その後、意見交換を行った。

6月16日 教育経済常任委員会研究会

テーマ：「茅ヶ崎市の図書館事業について」

内容：茅ヶ崎市立図書館長をはじめ職員より、図書館事業についての説明を受けた。

9月18日 教育経済常任委員会研究会

テーマ：「茅ヶ崎市の学校での読書活動推進について」

内容：茅ヶ崎市教育委員会より、学校における子どもの読書環境について、「茅ヶ崎市子ども読書活動推進計画」をもとに説明を受けた。

11月5日 三重県立図書館を行政視察

2012年度 Library of the year を受賞した三重県立図書館を視察し、平野館長からの説明を受けた後、館内を見学した。

- 平成26年11月8日 議会報告会・意見交換会
テーマ：「読書推進への取り組み」
内容：茅ヶ崎市教育委員会が行っている学校での読書活動への取り組みを紹介し、その後、意見交換を行った。
- 12月9日 教育経済常任委員会
内容：委員会を開催し、政策提言（素案）の決定
- 平成27年1月19日 全員協議会
全議員への政策提言（素案）の説明及び意見交換
- 3月12日 教育経済常任委員会
内容：政策提言（案）の検討及び政策提言の決定
議長へ報告

3. 調査研究のまとめ

（1）茅ヶ崎市立図書館に関する事項

- ① 平成19年より開始したインターネット予約サービスは順調に進んでいる。また、平成20年より開始したブックスタート事業を始め、おはなし会などの読書イベント以外にもジャズやクリスマスイベントなど、読書以外のイベントにも力を入れ、市民の好評を得ている。大学との連携も4大学に広がるなど着実に進んでいる。
- ② 一方、蔵書の古さや読書室の不足などの問題があるほか、図書館を情報拠点として考えたときのWi-Fi等設置にもまだ課題が多い。また、障がい者や高齢者のための設備も不足している。

（2）教育委員会に関する事項

- ① 読書活動指導協力者や保護者の多大な協力により、「読み聞かせ」など児童・生徒への読書啓蒙活動は進んでいる。
- ② 一方、学校図書館への学校司書の配置が遅れており、目標値も低い。又、「茅ヶ崎市こども読書活動推進計画」には、「学校の蔵書のデータベース化と活用方法について研究します」と明記されているが、未だに何の検討もされていないことが判明した。

(3) 市民からの意見

- ① 市内にもっと図書館がほしいという声が圧倒的に多かった。また、蔵書の不足の指摘があった。
- ② 電子書籍に関しては、身体障がい者の方からの切実な要望があった。
- ③ 図書館が地域センターとしての機能を備えるためにも、情報拠点となる施設整備の要望があった。
- ④ 学校図書館については、蔵書をデータベース化し、市立図書館とのネットワーク化の要望があった。

4. 政策提言

提言1 「開かれた図書館」としての茅ヶ崎市立図書館の機能強化を図る。

(1) 図書館資料の拡充

- ① 蔵書購入費の増額
DVDを含む資料購入費の増額を図る。
- ② 電子書籍の充実
国会図書館の「図書館向けデジタル化資料送信サービス」などを利用し、デジタル化資料の利用を図る。

(2) 図書館機能の充実

- ① 障がい者及び高齢者向けサービスの向上
障がい者への介助ブックスタッフ導入、点字図書の拡充、対面朗読の導入及び館内バリアフリー化等を図る。
- ② 職員の司書率アップ
司書は、図書館資料の選択・収集・提供、利用者に対する読書相談など極めて重要な役割を果たす。このため、その養成を進めるとともに、司書の適切な配置の促進を図る。

(3) 情報拠点としての図書館

① 課題解決支援のためのサービスの拡充

課題や悩みを抱えた市民に対してレファレンス等の活用を促す。さらに、地域文化活動に取り組む団体に対する活動支援としてのレファレンス等のあり方の検討を図る。

② 小学校・中学校の学校図書館との連携

各学校の蔵書をデータベース化し、市立図書館とのネットワーク化を図る。

提言2 子どもが読書に親しむためにさらなる環境の充実を図る。

(1) 学校図書館の充実

① 学校司書の増員

活字離れが進んでいる中、子どもたちを道案内できる学校司書の役割は大きい。よって、全小・中学校に早急に学校司書の配置を図る。

② 学校図書館蔵書のデータベース化

図書資料の検索機能の大幅な向上、児童、生徒の図書館利用の活発化、市立図書館との蔵書検索オンライン化の推進のため、学校図書館蔵書のデータベース化を図る。

③ 開館時間の延長

学校司書を配置することにより、休み時間や放課後など連続した開館を図る。

(2) 読書教育の推進

① 読書啓蒙活動の充実

「朝読」、読み終わった本などお気に入りの本の紹介、ビブリオバトル等の活動を通して、読書推進を図る。